

児湯地域の普及活動(普及活動月報)

令和7年9月 児湯農林振興局
(児湯農業改良普及センター)

目次

- I 管内農業・農村の主な動き (P 2)
 - 1) 西都地域農業経営体支援センターの農業経営コンサルティングが開催【西都市】
 - 2) 早期水稻種子農産物検査を実施【西都市ほか】

- II 主な普及指導活動等の取組
 - 1 プロジェクト(総合、専門)に関する普及活動 (P 3~4)
 - 1) 農業経営者サポート事業による相談会を実施【西都市】
 - 2) 児湯地区農業者研修のベーシック研修、ステップアップ研修、パワーアップ研修を実施【全域】
 - 3) 新規就農者の確保・育成に向けた取組の強化【新富町】
 - 4) ゆず収穫作業請負の仕組みづくりに関する協議【西米良村】
 - 5) とうがらしの先進地を視察しました【西米良村】
 - 6) 加工用さといもの収穫開始【西都市】
 - 7) かんしょ展示ほ【新富町】
 - 8) 農大校生に向けた畑かん営農の講義【高鍋町】
 - 9) ブドウ栽培講習会を実施【都農町、川南町】

 - 2 その他の普及活動 (P 5)
 - 1) 営振協特用作展示ほ成績検討会
 - 2) 茶展示ほ【川南町】
 - 3) 農大校生とズッキーニを定植【総合農試】

- III 参考 (P 5)
 - 9月の気象(宮崎气象台:西都市)

I 管内農業・農村の主な動き

1) 西都地域農業経営体支援センターの農業経営コンサルティングが開催【西都市】

10日、11日、30日に西都地域で地域コンサル3件が行われ、今年度実施を計画していた6件全てが終了しました。18日、26日には、8月に実施した2名に対するコンサル後の助言報告会が行われました。コンサルを機に、更なる発展と改善が見られることが望まれます。

2) 早期水稻種子農産物検査を実施【西都市ほか】

30日に、西都市、国富町で収穫された早期水稻「コシヒカリ」種子の農産物検査を行いました。

延べ6名の検査員で行われ、全ての種子が合格となりました。

10月7日にも引き続き検査を行う予定です。

良質な種子を生産者の方々に行き渡らせるまで今後もしっかり管理していきます。



【早期水稻の種子】

Ⅱ 主な普及指導活動等の取組

1 プロジェクト(総合、専門)に関する普及活動

1) 農業経営者サポート事業による相談会を実施【西都市】

1日に西都市の生産者に対し、専門家(公認会計士・中小企業診断士)による税務及び経営面に関する相談会を行いました。

相談会において、確定申告の更正申請等に関する助言があり、相談者は税務署への相談を行うなど、改善に向けて行動していく意向を示されました。今後も関係機関と連携しながら伴走支援を行っていきます。

2) 児湯地区農業者研修のベーシック研修、ステップアップ研修、パワーアップ研修を実施【全域】

今月はアグリ・ベーシック研修として植物生理・ハウスの環境制御、アグリ・ステップアップ研修として経営中級②(経営分析)、ライフプラン研修、アグリ・パワーアップ研修として経営発展①(消費税)を実施しました。

これから年内にかけて、アグリ・パワーアップ研修を中心に開催していきます。



【ライフプラン研修の様子
(講師は先進農家)】

3) 新規就農者の確保・育成に向けた取組の強化【新富町】

17日に新富町畜産関係担当者会議を開催しました。新規就農者支援体制の確立に向け、研修受け入れ先候補の確認や座学研修の内容強化、就農希望者の情報収集方法などについて、協議を行いました。

今後も引き続き協議を継続していく予定です。

4) ゆず収穫作業請負の仕組みづくりに関する協議【西米良村】

2日に、西米良村にて収穫作業請負に関する検討を行いました。村内では、特にゆずの収穫時期の労働力確保が課題となっており、宮崎県農協果汁(株)による加工用ゆずの収穫作業請負について検討しています。今回、農協果汁職員をゆず園地へ案内し、作業内容や今後の進め方などについて検討しました。検討の結果、今年の12月上旬頃に試行的に収穫作業を実施することになりました。今後は、関係機関や生産者と連携し、試行に向けた準備を進めていく予定です。



【現地検討の様子】

5) とうがらしの先進地を視察しました【西米良村】

18日に農家と関係者14名が参加して、熊本県球磨郡の生産ほ場を視察しました。

球磨郡では現在25名ほどでとうがらしを生産しており、一部米良食品にも出荷されています。植える間隔や肥料のやり方、誘引方法など、西米良とは異なる部分もあり、農家同士で積極的な意見交換が行われました。



【視察の様子】

6) 加工用さといもの収穫開始【西都市】

27日、今年度から新たに加工用さといもの栽培を開始した生産法人において、収穫作業が開始されました。本取り組みは、加工用さといも生産拡大を目的として、3月末に植付けを実施しました。

栽培期間中には、疫病やヨトウムシなどの病害虫の発生が見られましたが、薬剤防除対策を講じることで、被害を抑えることができました。収穫された加工用さといもは、管内の加工業者へ出荷されます。

加工用さといもの安定的な生産とさらなる生産性向上を目指し、今後も生産法人と密接に連携してまいります。



【収穫の様子】

7) かんしょ展示ほ【新富町】

1日、11日、25日に2つのかんしょ展示ほで区毎350株のサツマイモ基腐病発生調査を行いました。10月頃まで2週間毎に調査を行っていきます。



【調査様子】

8) 農大校生に向けた畑かん営農の講義【高鍋町】

5日、高鍋町の農業大学校で、農学科の1年生を対象とした畑かん営農の講義を行いました。

講義ではまず、植物における水の働きや県内の畑作物における散水器具の活用事例などを紹介した後、敷地内のチャレンジファームに移動して散水実演を行いました。

散水実演には高鍋キャベツ勉強会の前田氏と鍋島氏を講師に招き、スマートレインやロールカーの特徴や使い方について研修を行いました。

参加した農大校生はいずれも興味深く話を聞いており、自身が管理する作物でどのような散水器具が適するかなど意見を交わしていました。



【講習会の様子】

9) ブドウ栽培講習会を実施【都農町、川南町】

19日にJAみやざき尾鈴地区本部ブドウ部会巨峰専門部において、栽培講習会を実施しました。関係機関2名、生産者15名ほどが参加し、活発な意見交換が行われました。

普及センターからは生産者から要望のあった秋期管理のうち、特に土壌改良について基礎的な手法を中心に説明を行い、その後生産者と意見交換しながら、必要な労力や経費を勘案してそれぞれの生産者が取れる手法について検討を行いました。

今後も引き続き巡回を行いながら、現場に適した栽培方法について検討を行っていきます。



【意見交換の様子】

2 その他の普及活動

1) 営振協特用作展示ほ成績検討会

1日に営振協特用作展示圃検討会が行われ、各地区実施している展示ほの結果が報告されました。

児湯普及センターでは3つの展示ほを設置していますが、そのうち調査の終わった2つの展示ほに関する実績を報告しました。2つの展示ほとも、良い結果となり、普及性は高いと報告しました。

2) 茶展示ほ【川南町】

2日、9日、22日、26日炭疽病とカンザワハダニの農薬試験の病害虫発生状況調査を行いました。

炭疽病については、2剤中1剤は中発生となり、抑制効果は見られませんでした。カンザワハダニについての農薬は、薬剤の効果が見られました。



【調査様子】

3) 農大校生とズッキーニを定植【総合農試】

26日に、総合農試においてズッキーニの品種比較のための苗の定植を行いました。この試験は地域課題のニーズに応じて、総合農試内の栽培施設を利用して行うもので、調査は担当地域の普及指導員やJA担当者が実施します。農大校からインターンシップに来ていた4名の学生にも、定植の体験をしていただきました。



【定植作業の様子】

III 参考

9月の気象(宮崎气象台:西都市)

	平均気温(°C)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年
上旬	27.9	26.7	25.9	293.0	59.0	80.2	71.1	96.5	55.1
中旬	27.6	27.9	24.7	4.0	71.5	128.2	70.0	64.2	51.6
下旬	25.6	25.0	22.8	117.5	81.5	113.1	28.6	47.1	46.3
月	27.0	26.6	24.5	414.5	212.0	321.5	169.7	207.8	153.0

農林水産業者、県民の皆さまの「知りたい! 伝えたい! 相談したい!」にお応えします!



宮崎県 農林水産業ナビ
ひなたMAFiN
Miyazaki Agriculture Forestry Fisheries Navigation

農林水産業に関する

- 多様な情報をホームページでわかりやすく提供!
- タイムリーな情報をSNSなどを活用して発信!
- 皆さまの思いや意見を集約!



ひなたMAFiN

検索

メルマガ登録はこちら